

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(1月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



『吉岡良太夫の生涯』

～ まっすぐな武士の道 ～

掃部千鶴 作・画 / 制作 矢祭町 矢祭町教育委員会

対象：小学生から高齢者



内容のご紹

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。町民の皆様も良き新年を健やかに迎へることと存じます。

今月ご紹介する絵本は、矢祭町の偉人“吉岡良太夫の生涯”です。この絵本からは、その時代の背景を知り、その人に与えられた役割を果たし、時代に翻弄されながらも、生き抜いた人生を学ぶことができます。

1853年のペリー来航から1868年の明治維新までの15年間で世界が変わり、日本社会の構造が変わっていきます。

咸臨丸の渡米は、1860年で黒船来航から7年後です。吉岡は、この時代をどのように捉えたか。彼の強いエネルギーが伝わってきます。

是非、家族で読んでみてください。そして、感想を聞かせてください。

矢祭町出身の鈴木勇平（のちの吉岡勇平、改め吉岡良太夫）は、中石井出身です。17歳で故郷を離れ、日本各地をめぐり学問武芸を学び、長崎奉行の祐筆（書記）になります。24歳で江戸に出て御家人吉岡家の養子として、江戸幕府表御台人の職に就き、28歳で地理学をもとに執筆の「江戸湾防備策」が認められ、軍艦取調役として働く。30歳の時に日本初の太平洋横断を成し遂げた咸臨丸に乗船した。公用方としての働きや、帰国後の攘夷運動により国内の動きが一変したこと、良太夫氏の一生について、貼り絵で掃部千鶴さんが制作した原画を絵本にしました。子ども司書（読書推進リーダー）も制作に参加しています。

紹介文／矢祭もったいない図書